

# まちこぐひと

自転車文化  
タウンづくりの会  
ニュースレター Vol.9



# 爽やかであれ

いまから十年ほど前、何人かの自転車乗りに会いました。いずれも爽やかな青年でした。サイクリングという音も軽やかです。

自転車は、人と機械が一体となって風を切って走る、颯爽とした乗り物です。また、昭和の人間にとって、自転車は映画「青い山脈」にみられるような青春の象徴であり、「二十四の瞳」にあらわされたような庶民のステイタスなのです。

自転車のフリーペーパーを始めたのは、そんな自転車乗りや自転車の良いところをみんなに伝えたいと思ったからでした。自転車に乗る人や自転車が悪者扱いされていますが、自転車は悪くない。

「自転車文化タウンづくりの会」は、自転車も人も爽やかに生きるための活動をしています。賛同者として見守っていましたが、昨年、幹事会に誘われました。気軽に参加したら、私も幹事の一人ということになっていました。

自転車が爽やかな存在として、人とともに走っていけるよう、できることをしたいと思っています。

塚村真美\*フリーペーパー季刊紙 cycle 発行人





# 第5回御堂筋 2013/9/22 sun. サイクルピクニック

“自転車の安全な走行空間を作ってほしい！”というアピールを行う恒例の御堂筋サイクルピクニックは年2回の開催が定着し第5回目となりました。今回は「大阪モビリティウィーク&カーフリーデー 2013」への賛同も表明しています。

これまで月1回のサイクルピクニッククラブとして打ち合わせを重ね、アピール走行以外の企画として自転車マーケット、自転車スタンプラリー、自転車ファッションショー、輪行講座など参加者が楽しめるよう盛りだくさんにしました。当日はとても暑い一日でしたが、アピール走行、各種イベントと長時間に渡り楽しめるイベントとなり、アピール走行参加者330人、イベント全体参加者約600人

にもなりました。自転車に関するアピール・イベントとしては大規模なものとなり、ニュース番組や新聞にも取り上げられました。

今回のサイクルピクニックの特徴としては、前回までのアピール走行ルートである「御堂筋→長堀通→堺筋ルート」に、新しく設置された「本町通り自転車レーン」を加えました。この自転車専用のレーンがあることで自転車と歩行者にとって安全で走りやすいことがわかり、こうした自転車走行空間の整備の必要性を改めて実感しました。これからも御堂筋サイクルピクニックを続けることにより、多くの市民の声で新しい交通環境を構築したいという気持ちを新たにしました。

(上西秀樹)

# 本町通り自転車レーンと 御堂筋交通社会実験

2013年9月20日、御堂筋～堺筋間の限られた範囲ですが、本町通りに大阪初の本格的自転車レーンが開通しました。最近の法改正他は2011年警察庁通達「自転車車道通行の徹底」、2012年「安全で快適な自転車利用環境創出ガイドライン」、2013年「路側帯での逆走禁止」と続いており、放置自転車対策一辺倒であった大阪の自転車施策も「自転車はどこを走るべきか」というテーマにシフトしつつあります。この自転車レーンの評価されるべき点として①「ガイドライン」の基本を踏襲、②社会実験ではなく本格実施、③開通後の検証調査実施と結果公表等が挙げられます。自転車レーンでの駐停車対策、左折専用レーンによる交差点での混乱等改良すべき点もありますが、これを契機に「交通体系の中で

の自転車の位置づけ」が明確になることが期待されます。

11月23日～29日には御堂筋の緩速車線で自動車交通を規制し、交通影響等を確認する社会実験が実施されました。一部では自転車道も設置されましたが、表示の無い側道を単に自転車を走らせる（それも対面交通）だけで実験としての意義は薄かったのですが、交通分野の社会実験に「自転車」が登場せざるを得なくなった時代状況が感じられました。自転車レーン開通に続く9月22日には御堂筋サイクルピクニックが開催され、「御堂筋に自転車レーンを」のアピール走行が330人参加で行われたこともあり、これからの自転車まちづくりのありかたを想起させる2013年でした。

(井上 守)

自転車文化タウンづくりの会総会 ミニ講演会  
中西大輔氏講演  
「世界130カ国自転車旅行」  
感動の体験記！



中西氏は地元 兵庫県川西市の出身。大学卒業後、大手建設会社で5年9ヶ月勤務した後、「自転車で世界一周してみたい」という夢を叶えた人物！

ただ世界一周といっても中西氏は桁違い！なんと世界130カ国 地球2周15万キロを11年かけて走破したのだ！この功績は帰国後「植村直己冒険賞」の受賞へとつながった。

講演では記録映像と体験談から誰もを、直ぐに感動の世界旅行へと誘う！中西氏は現在 JACC 日本アドベンチャーサイクリストクラブの国際部長として、多くのサイクリストの育成と共に憧れの頂点に立つ。

自転車旅行の魅力とは…

「その土地ごとの自然や風土を肌で感じ、風を切って進む爽快感が醍醐味」と語った。2013.5.19

(藤本典昭)



# さよならの タタム自転車 タクシーの 参上

大阪初、2人乗りタンドム自転車タクシーのイベントを2013年12月1日に開催。タンドム自転車の前の席にはサンタに扮した運転手、後ろの席には参加者が乗車し、一緒にペダルをこいで、上町台地を駆け巡りました。視覚に障がいのある方、自転車に初めて乗る83歳の女性、ベテランサイクリストなど、多彩な面々が参加しました。(パイロット:3人、参加者:7人/上町台地マイルドHOPEゾーン事業) (鎗山善理子)



自転車文化  
タウンづくりの会

Website 

 blog

twitter 

大阪で  
タンドム自転車を楽しむ会

Website 

 blog

facebook 

御堂筋  
サイクルピクニック

Website 

facebook 

自転車文化  
タウンづくりの会  
会員募集中

一般会員 2000円  
学生会員 1000円  
賛助会員 5000円  
(1口)

発行者 自転車文化タウンづくりの会  
発行所 〒555-0013 大阪市西淀川区千舟1-1-1 あおぞらビル4F あおぞら財団内  
発行日 2014年5月18日  
TEL 06-6475-8885 / FAX 06-6478-5885  
Mail webmaster@aozora.or.jp